

シラバス 一級自動車整備 科

講 義 名	＜学科＞ 一年次前期 ガソリン・エンジン構造1				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担 当 者	花岡 大輔	単位数	9 時限 (10.8h)	区分	学科
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員がガソリンエンジン構造について教育を行う科目。				
講義対象	一年生	時 期	4月～9月中旬		
使用教材	三級自動車ガソリン・エンジン、基礎自動車工学、プリント				
到達目標	ガソリン・エンジンの基本構造、基本原理の理解				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。				
授業計画					
1	内燃機関の概要 内燃機関の分類				
2	理論サイクル(定容、低圧、複合) P－V線図				
3	点火・着火、燃料、冷却、バルブ機構、シリンダ配列				
4	4サイクル・ガソリン・エンジン 作動 バルブ・タイミング				
5	バルブ・タイミングの練習問題(プリント)				
6	燃焼 理論空燃比、熱効率、燃焼と圧力、ノッキング				
7	排出ガスと対策 三元触媒、ブローバイ・ガス還元装置				
8	試験前対策				
伝達事項等					
校長	所 属		授業資格		実務経験
	学科長	担当者	学科実習 あり		あり

シラバス 二級自動車整備 科

講 義 名	<学科> 一年次前期 ガソリン・エンジン構造1				
概要と目的					
担 当 者		単位数		区分	
講義対象		時 期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
9	期末試験				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			

シラバス 一級自動車整備 科

講義名		＜学科＞ 一年次前期 ガソリン・エンジン構造2			
概要と目的		国家試験レベルの知識を身に付ける			
担当者		霜田 大	単位数	9 時限 (10.8h)	区分 学科
実務経験		カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員がガソリンエンジン構造について教育を行う科目。			
講義対象		一年生	時 期	4月～9月中旬	
使用教材		三級ガソリン・エンジン、三級二輪、基礎自動車工学、プリント			
到達目標		三級レベルの燃料装置の理解			
成績評価		期末試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。			
授業計画					
1	ガソリン・エンジンとは、3要素、混合気とは、出力と混合気の関係 スロットル・バルブ開度とエンジン負荷、吸入空気量、INマニホールド圧力の関係				
2	混合気の作成(キャブレター)				
3	電子制御式の燃料の流れ、インマニ圧力の変化と噴射量の差、				
4	プレッシャ・レギュレータ、ジェット・ポンプ				
5	電子制御装置の概要(構成)、電子制御式燃料噴射装置とは				
6	電子制御装置の構成部品の名称と役割				
7	電子制御装置の構成部品の名称と役割				
8	復習と補足説明(プリント)				
伝達事項等					
校長	所 属				授業資格
	学科長 担当者				学科実習 あり
					あり

シラバス 二級自動車整備 科

講 義 名	<学科> 一年次前期 ガソリン・エンジン構造2				
概要と目的					
担 当 者		単位数		区分	
講義対象		時 期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
9	期末試験				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			